

平成27年

火災・救急の概況

火 災

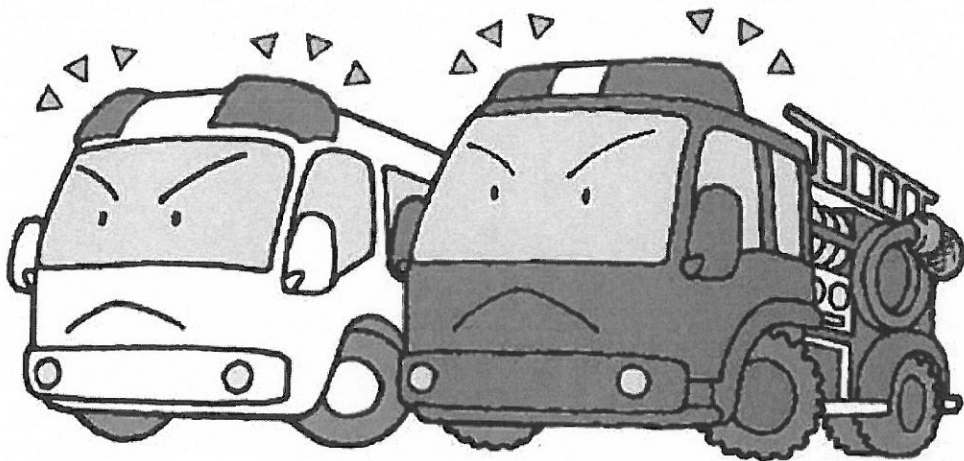
26件

大洲市	18件
内子町	8件

救 急

3,254件

大洲市	2,334件
内子町	912件
管轄外	8件



大洲地区広域消防事務組合

【大洲市・内子町】



火災の概況

1 火災概要

平成27年中に組合管内で発生した火災は26件で、建物焼損棟数28棟、建物焼損床面積949平方メートル、り災世帯数16世帯、り災人員38人、死者数3人、負傷者数3人、損害額21,300千円となっている。

前年と比較すると、建物焼損床面積及び損害額が減少しており、建物焼損棟数、り災世帯数、り災人員、負傷者及び30日死者については増加している。

2 出火件数

出火件数は26件で、前年と比べ1件減少しており、1ヶ月あたり2.2件の割合で火災が発生している。

出火率（人口1万人あたりの出火件数）は4.1であり、全国の出火率3.4（平成26年）と比較し0.7ポイント高くなっている。

(1) 市町別出火件数

「2表 市町別火災状況」のとおり、大洲市18件（内訳：大洲10件、長浜5件、肱川2件、河辺1件）、内子町8件（内訳：内子6件、五十崎0件、小田2件）となっている。

(2) 火災種別

「4表 火災種別出火件数の構成割合」のとおり、建物火災が21件（全火災の80.7%）で最も多く、次いでその他の火災が3件（11.5%）、林野火災及び車両火災が各1件（3.9%）の順になっている。

なお、建物火災21件を用途別に見ると、「11表 建物火災の火元用途別の出火状況」のとおり、住宅火災（併用住宅を含む）が12件で建物火災の57.1%を占めている。

(3) 四季別出火件数

「5表 四季別出火状況」のとおり、春季と冬季における火災が8件と多く、秋季7件、夏季3件の順となっている。

3 損害額

「1表 火災の概況」のとおり、総損害額は21,300千円で、前年より12,503千円減少している。

このうち、建物火災による損害は、98.5%にあたる20,984千円であり、これは、前年の14,728千円と比較すると、6,256千円増加している。

また、1件あたりの損害額は、「8表 出火件数及び損害額の推移」のとおり、819千円であり、前年の1,252千円と比較すると433千円減少している。

4 出火原因

「9表 出火原因別件数及び損害額」のとおり、総出火件数26件のうち、原因が判明したものでは、「その他」を除き、「たき火」による出火が4件で最も多く、次いで「たばこ」及び「こんろ」が3件、「ストーブ」「煙突」及び「放火」が2件、「取灰」「かまど」「線香」「配線器具」「ライター」による出火がそれぞれ1件となっており、前年同様「たき火」の原因による出火が最も多くなっている。

5 初期消火対応

火災初期における消火活動と、その効果の有無については、「10表 初期消火の対応状況」のとおりで総出火件数26件のうち初期消火を試みたものは19件あり、このうち初期消火によって大事に至らなかった火災は10件である。

また、初期消火に効果のあったものは、「水道、浴槽等の水をかけた」が4件、「消火器」が3件、「水バケツ」が1件となっている。

6 死傷者

死傷者は「12表 死傷者の区分」のとおりで、火災による死者は3人（応急消火義務者3人）、負傷者3人（応急消火義務者2人、消防団員1人）、30日死者1人（応急消火義務者）で、前年に比べ負傷者及び30日死者が各1人増加となっている。

7 まとめ

以上、平成27年中の火災概況であるが、前年と比べて出火件数は1件減少しているものの、建物火災は前年より7件増加し、り災人員が昨年に比べ倍近く増加しており、出火率も全国出火率を上回っている。

出火原因は「たき火」によるものが4件と最も多く、その要因としては、火の取扱の不注意が原因と考えられる。

このことから、防火対策の取り組みとして、住民に対して火の取扱について注意喚起を行い、より一層の火災予防に努める必要がある。

さらに、住宅火災による死傷者の低減や被害の軽減を図るため、住宅用火災警報器の設置、維持管理をより強く呼びかけるとともに、各地域における自主防災組織等の協力を得て、住民等を主体とした防災訓練等を行い、防火意識の更なる高揚を図る必要がある。

1表 火災の概況

区 分	単位	平成27年	平成26年	増 減
出 火 件 数	件	26	27	▲ 1
建 物	〃	21	14	7
林 野	〃	1	2	▲ 1
車 両	〃	1	5	▲ 4
船 舶	〃	0	0	—
航 空 機	〃	0	0	—
そ の 他	〃	3	6	▲ 3
焼 損 棟 数	棟	28	21	7
全 焼	〃	10	6	4
半 焼	〃	3	4	▲ 1
部 分 焼	〃	5	4	1
ぼ や	〃	10	7	3
建物焼損床面積	m ²	949	1,003	▲ 54
建物焼損表面積	m ²	17	12	5
林野焼損面積	a	7	5	2
死 者	人	3	3	—
負 傷 者	〃	3	2	1
30日死者	〃	1	0	1
り災世帯数	世帯	16	11	5
全 損	〃	5	3	2
半 損	〃	1	1	—
小 損	〃	10	7	3
り災人員	人	38	20	18
損 害 額	千円	21,300	33,803	▲ 12,503
建 物	〃	20,984	14,728	6,256
林 野	〃	78	0	78
車 両	〃	120	1,006	▲ 886
船 舶	〃	0	0	—
航 空 機	〃	0	0	—
そ の 他	〃	118	18,069	▲ 17,951
爆発損害額	千円	0	0	—
出 火 率	件	4.1	4.2	▲ 0.1

※ ▲～減

※ 出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。

※ 損害額は、火災種別ごとの損害額を計上している。

2表 市町別火災状況

区分 市町別	火災種別						焼損面積			死傷者			焼損棟数	り災世帯数	損害額(千円)	
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	建物床面積(m ²)	建物表面積(m ²)	林野(a)	死者	負傷者	30日死者			総額	うち建物損害
大洲	10	8		1		1	386	1			1	1	9,039	8,919	9	
長浜	5	4				1	177	3			1		1,551	1,541	3	
肱川	2	2					90		3		1		1,406	1,328		
河辺	1	1					138		3				1,561	1,535		
小計	18	15		1		2	791	4	6		2	1	13,557	13,323	12	
内子	6	4	1			1	134	13	1			1	1,747	1,665	3	
五十崎																
小田	2	2					24				1		5,996	5,996	1	
小計	8	6	1			1	158	13	1		1	1	7,743	7,661	4	
合計	26	21	1	1		3	949	17	7		3	1	21,300	20,984	16	

建物損害額 = 建物損害額 + 収容物損害額

3表 市町別月別出火状況

年別・市町別	月別												合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
平成27年	大洲	2		1	1	1		1	2	1	1		
	長浜	1		1	1	1				1			
	肱川			1	1								
	河辺									1			
	内子		4			1				1			
	五十崎												
	小田	1					1						
合計	4	4	3	3	2	1	1	1	2	4	1		26

年別・市町別	月別												合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
平成26年	大洲		3	1	2	2	2			4	1	1	
	長浜					1							
	肱川											1	
	河辺												
	内子		2		1	1		1				1	
	五十崎					1							
	小田					1							1
合計		5	1	3	6		2	1		4	1	4	27

4表 火災種別出火件数の構成割合 (%)

区 分	平成27年	平成26年
建 物 火 災	80.7	51.9
林 野 火 災	3.9	7.4
車 両 火 災	3.9	18.5
船 舶 火 災	0.0	0.0
航 空 機 火 災	0.0	0.0
そ の 他 の 火 災	11.5	22.2
合 計	100.0	100.0

5表 四季別出火状況

年 別 月 別	平成27年				平成26年			
	出火 件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)	出火 件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
春 季 3月～5月	8	30.8	5,817	27.3	10	37.1	3,430	10.2
夏 季 6月～8月	3	11.5	5,895	27.7	3	11.1	21,056	62.3
秋 季 9月～11月	7	26.9	5,809	27.3	5	18.5	3,866	11.4
冬 季 12月～2月	8	30.8	3,779	17.7	9	33.3	5,451	16.1
合 計	26	100.0	21,300	100.0	27	100.0	33,803	100.0

7表 出火率・出火件数・人口・世帯数調

区 分		実 数		増減率 (%)	
		平成27年	平成26年		
大洲地区 広域消防 事務組合	出 火 率	4.1	4.2	-	
	出 火 件 数	26	27	▲ 3.7	
	うち建物火災	21	14	50.0	
	人 口	63,082	64,135	▲ 1.6	
	世 帯 数	27,474	27,549	▲ 0.3	
大 洲 市	大 洲	出 火 率	2.8	4.5	-
		出 火 件 数	10	16	▲ 37.5
		うち建物火災	8	7	14.3
		人 口	35,321	35,836	▲ 1.4
	長 浜	世 帯 数	15,529	15,537	▲ 0.1
		出 火 率	7.1	1.4	-
		出 火 件 数	5	1	400.0
		うち建物火災	4	0	0.0
	肱 川	人 口	7,081	7,231	▲ 2.1
		世 帯 数	3,262	3,280	▲ 0.5
		出 火 率	8.5	4.1	-
		出 火 件 数	2	1	100.0
	河 辺	うち建物火災	2	1	100.0
		人 口	2,350	2,418	▲ 2.8
		世 帯 数	1,006	1,026	▲ 1.9
		出 火 率	1.3	0	-
	内 子	出 火 件 数	1	0	0.0
		うち建物火災	1	0	0.0
		人 口	787	826	▲ 4.7
		世 帯 数	418	433	▲ 3.5
内 子 町	内 子	出 火 率	6.2	6.1	-
		出 火 件 数	6	6	0.0
		うち建物火災	4	4	0.0
		人 口	9,701	9,840	▲ 1.4
	五 十 崎	世 帯 数	3,992	3,986	0.2
		出 火 率	0	1.9	-
		出 火 件 数	0	1	▲ 100.0
		うち建物火災	0	1	▲ 100.0
	小 田	人 口	5,329	5,370	▲ 0.8
		世 帯 数	2,070	2,067	0.1
		出 火 率	8.0	7.7	-
		出 火 件 数	2	2	0.0
	うち建物火災	2	1	100.0	
	人 口	2,513	2,614	▲ 3.9	
	世 帯 数	1,197	1,220	▲ 1.9	

※ ▲は減

※ 出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。

※ 増減率については、表示単位未満を四捨五入した。

※ 人口は平成27年12月31日現在の住民基本台帳によるもの。

8表 出火件数及び損害額の推移

区分 年別	出火件数	損害額 (千円)	1件あたりの損害額 (千円)
平成18年	47	43,169	918
平成19年	38	67,285	1,771
平成20年	35	123,296	3,523
平成21年	47	47,887	1,019
平成22年	25	27,931	1,117
平成23年	26	24,976	961
平成24年	31	43,479	1,403
平成25年	31	23,913	771
平成26年	27	33,803	1,252
平成27年	26	21,300	819

9表 出火原因別件数及び損害額

区分	出火件数(件)	割合(%)	損害額(千円)	割合(%)
たき火	4	15.4	368	1.7
たばこ	3	11.6	6,965	32.7
こんろ	3	11.6	6	0.0
ストーブ	2	7.7	1,912	9.0
煙突	2	7.7	1,645	7.7
放火	2	7.7	45	0.2
取灰	1	3.8	1,120	5.3
かまど	1	3.8	250	1.2
線香	1	3.8	28	0.1
配線器具	1	3.8	6	0.0
ライター	1	3.8	0	0.0
不明	3	11.6	3,190	15.0
その他	2	7.7	5,765	27.1
合計	26	100.0	21,300	100.0

※ 割合(%)については、数字を調整している。

10表 初期消火の対応状況

効果	消火器具別						合計
	消火器	消火栓	寝具、衣類等 をかけた	水道、浴槽等の水 をかけた	水バケツ	その他	
効果有	3	0	0	4	1	2	10
効果無	2	2	0	2	1	2	9

11表 建物火災の火元用途別の出火状況

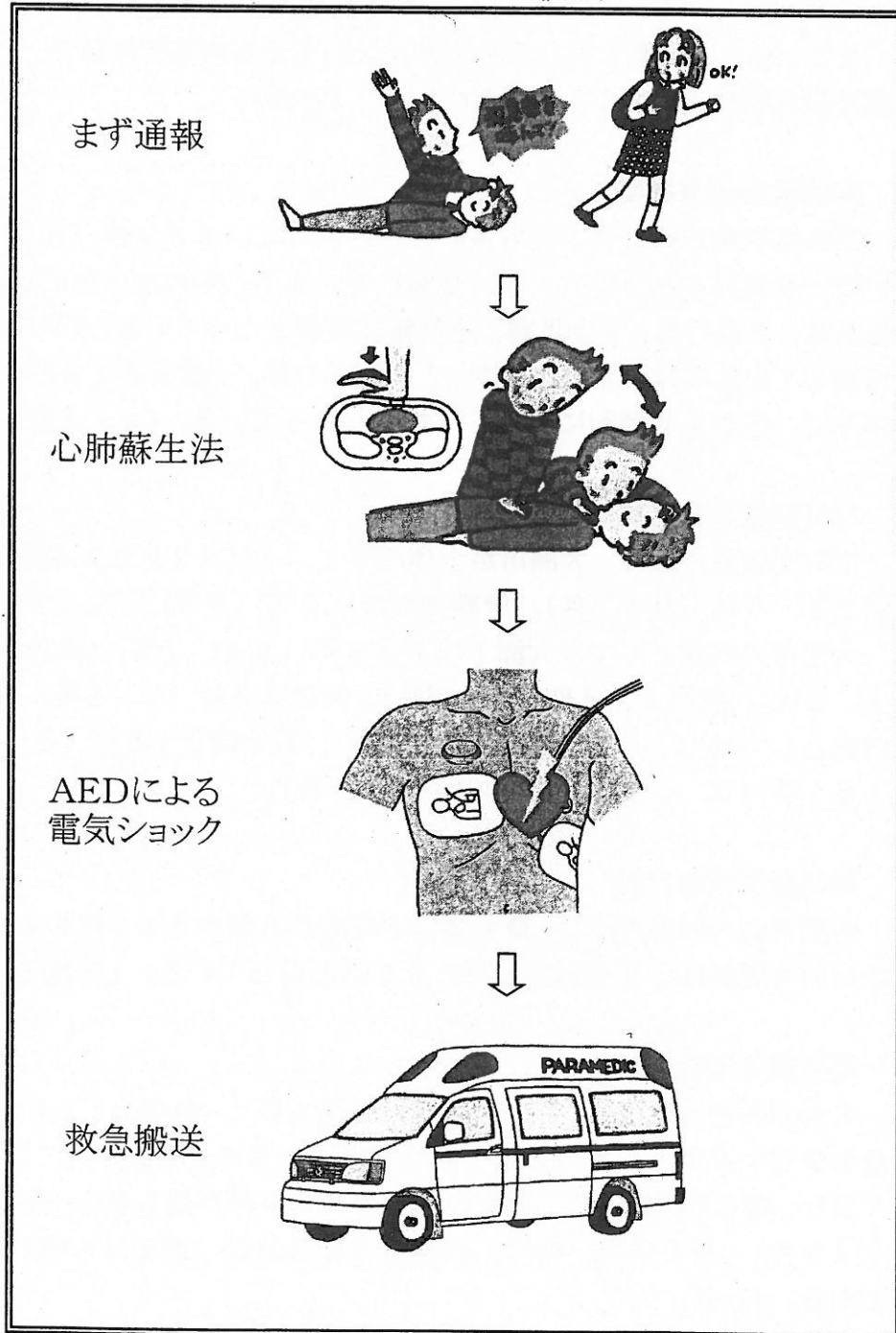
用途別 年別	住宅 (併用含む)	作業場 工場	複合用途 (特定)	共同住宅	倉庫 納屋	風呂場	合計
平成27年	12	1	0	0	7	1	21
平成26年	7	0	1	2	4	0	14

12表 死傷者の区分

区分	死者	負傷者	30日死者
消防吏員	0	0	0
消防団員	0	1	0
応急消火義務者	3	2	1
消防協力者	0	0	0
その他の者	0	0	0
合計	3	3	1

次のページから救急の概況

応急手当の流れ



救急の概況

1 救急業務状況

平成27年中における救急業務の実施状況は、出動件数3,254件（前年比77件増）、搬送人員3,108人（前年比65人増）であり、前年と比較して増加している。（1表）

また、組合に配置している救急車6台全てが高規格救急車で、全ての救急事案に救急救命士が同乗し出場している。（2表）

2 事故種別救急概要

事故種別救急件数は、最も多いのが急病で1,969件（60.5%）、次いで一般負傷495件（15.2%）で、以下、その他（主に転院搬送）、交通事故、自損行為、労働災害、運動競技の順となっている。前年と比較すると増加しているのは、急病66件、その他19件、一般負傷19件増加しているのみで、他の事故種別については減少となっている。（2・3表）

3 市町別救急業務状況

市町別救急件数は、大洲市が全体の71.7%（2,334件）で、内子町が28.0%（912件）、管轄外が0.3%（8件）となっている。

大洲市の内訳としては大洲1,780件（54.7%）、長浜386件（11.9%）、肱川118件（3.6%）、河辺50件（1.5%）で、内子町の内訳としては内子535件（16.4%）、五十崎216件（6.6%）、小田161件（5.0%）となっている。（4表）

4 時間帯別救急状況

時間帯別の救急件数は、最も多い時間帯が8時から10時の428件、最も少ない時間帯は、2時から4時の99件となっている。（5表）

5 曜日別月別救急状況

月別の救急件数は、1月の308件が最も多く（前年は12月の323件）、最も少ない月は、6月の251件（前年は6月の230件）である。

また、曜日別の救急件数は、火曜日の497件が最も多く（前年は月曜日の499件）、最も少ないのは、日曜日の438件（前年は木曜日の406件）である。（6表）

6 応急処置状況

救急隊員が行った応急処置の状況は、酸素吸入、保温、血圧測定、聴診器による聴診、血中酸素飽和度測定、その他の応急処置（検温等）、心電図等の頻度が高く、除細動は5件実施している。

救急救命士が行う救急救命処置については、ラリングアルマスク等を用いた気道確保を37件、気管挿管を7件、静脈路確保を41件、薬剤投与を8件実施している。（7表）

7 医療機関別搬送人員状況

収容医療機関の状況は、搬送人員の83.9%（2,607人）を管内の医療機関に搬送しており、うち、98.2%（2,562人）は救急告示病院に搬送している。

また、管外医療機関への搬送は、500人であり、その52.8%に当たる264人はその他（主に転院搬送）によるものである。（8表）

8 市町別人口割救急状況

市町別人口割救急状況は、人口1,000人当りの救急発生割合を比較すると、最も発生頻度が高いのは河辺及び小田の64件、次いで長浜及び内子の55件、大洲及び肱川の50件となっており、最も発生頻度が低いのは五十崎で41件となっている。（9表）

9 高齢者事故種別搬送人員状況

高齢者（「65歳以上の者」をいう。以下同じ）に関する救急状況は、搬送人員2,122人で昨年に比べ134人増加しており、全搬送人員の68.3%を占めている。

また、事故種別でみると、急病が1,331人（62.7%）と最も多く、次いで一般負傷が363人（17.1%）、その他（主に転院搬送）が322人（15.2%）の順となっている。（10表）

10 高齢者市町別疾病分類搬送人員状況

高齢者急病の疾病分類は、その他を除くと呼吸系が225人（16.9%）と最も多く、次いで心疾患197人（14.8%）、脳疾患165人（12.4%）、消化系141人（10.6%）の順となっている。（11表）

1表 年別救急業務状況

区分 年別	出 場 件 数						搬 送 人 員					
	合 計	大 洲 消 防 署 本 署	長 浜 支 署	川 上 支 署	内 子 消 防 署 本 署	小 田 出 張 所	合 計	大 洲 消 防 署 本 署	長 浜 支 署	川 上 支 署	内 子 消 防 署 本 署	小 田 出 張 所
平成27年	3,254	1,736	383	208	738	189	3,108	1,659	362	193	712	182
平成26年	3,177	1,756	397	211	656	157	2,122	1,109	275	143	466	129
昨 年 比 増 減	77 ▲ 20		▲ 14	▲ 3	82	32	65 ▲ 27	48 ▲ 1	▲ 5	▲ 12	73 ▲ 5	36 ▲ 5

下段の数値は65歳以上

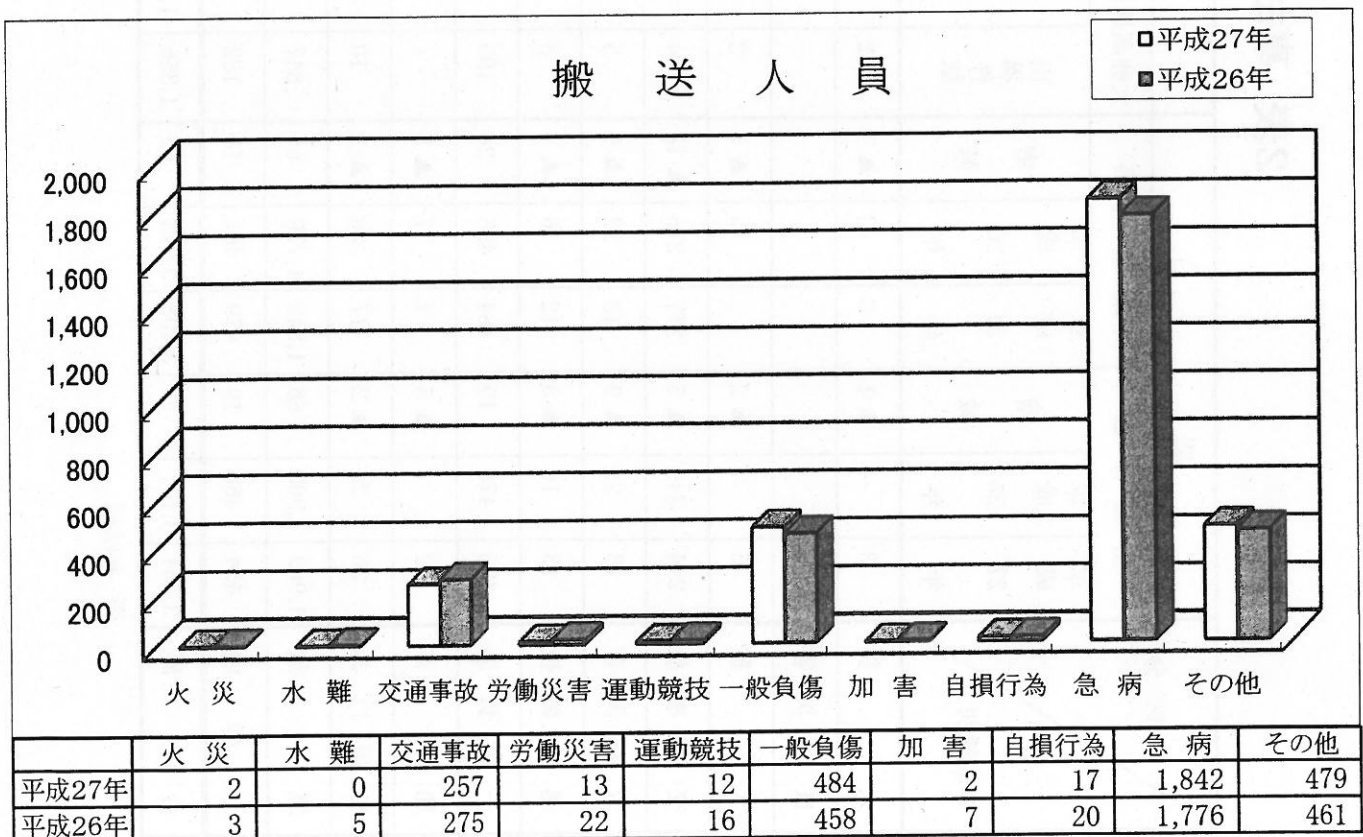
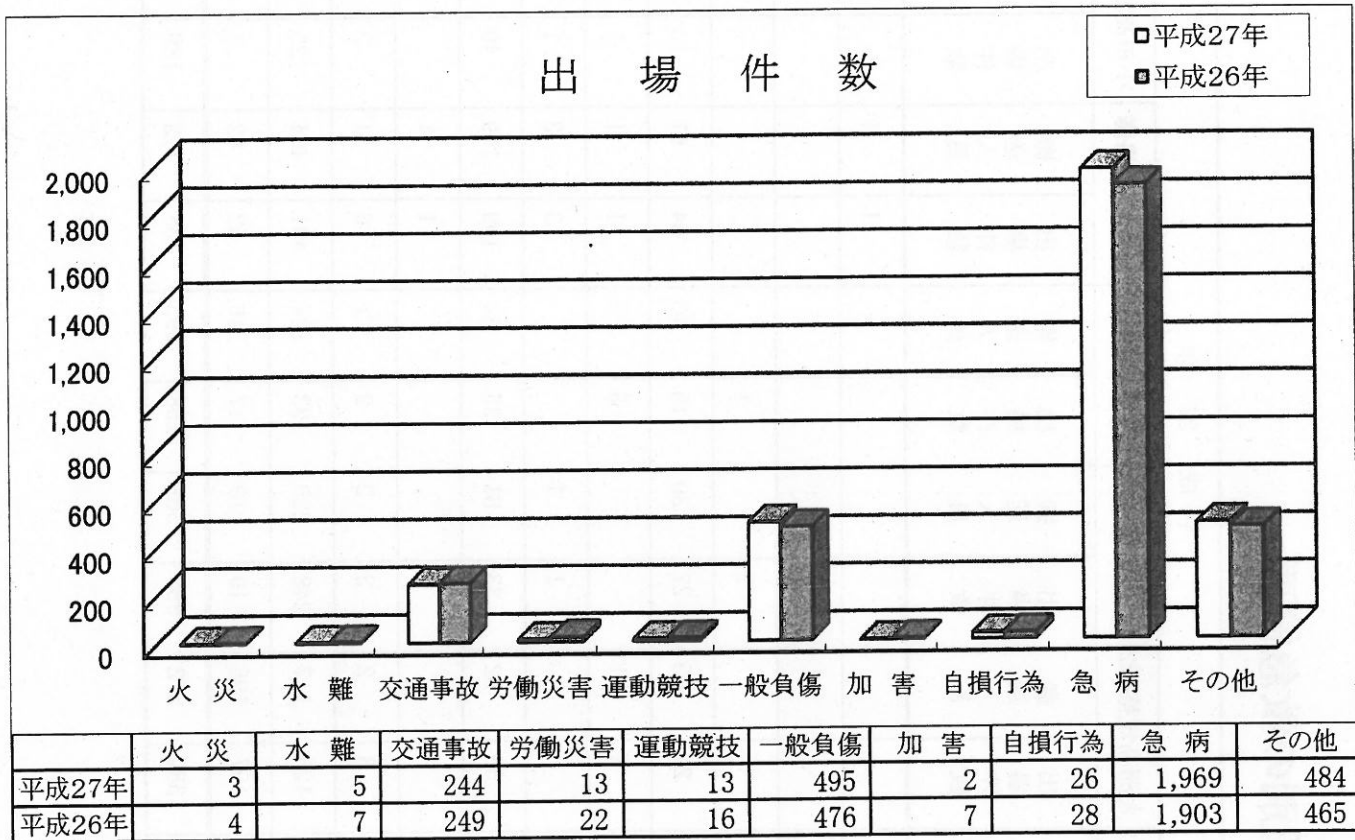
※ ▲は減

2表 事故種別の救急概要

区分 事故種別	組				平成 27 年											
	出場件数		搬送人員		大洲高規格隊1		大洲高規格隊2		長浜高規格隊		川上高規格隊		内子高規格隊		小田高規格隊	
	平成 27年	平成 26年	増 減	平成 27年	平成 26年	増 減	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員
火災	3	4	▲1	2	3	▲1	2	1					1	1		
自然災害																
水難	5	7	▲2		5	▲5	2			2						
交通事故	244	249	▲5	257	275	▲18	104	110	21	25	30	15	13	64	67	13
労働災害	13	22	▲9	13	22	▲9	5	5	1	1		5	5	1	1	1
運動競技	13	16	▲3	12	16	▲4	8	8			1			3	3	1
一般負傷	495	476	19	484	458	26	195	187	33	32	81	35	34	109	109	40
加害	2	7	▲5	2	7	▲5	1	1						1	1	
自損行為	26	28	▲2	17	20	▲3	10	7	3	2	2	2	1	6	4	2
急病	1,969	1,903	66	1,842	1,776	66	847	788	125	117	229	133	124	491	464	125
その他	484	465	19	479	461	18	182	180	197	195	19	17	16	62	62	7
合計	3,254	3,177	77	3,108	3,043	65	1,356	1,287	380	372	362	208	193	738	712	189

※ ▲は減

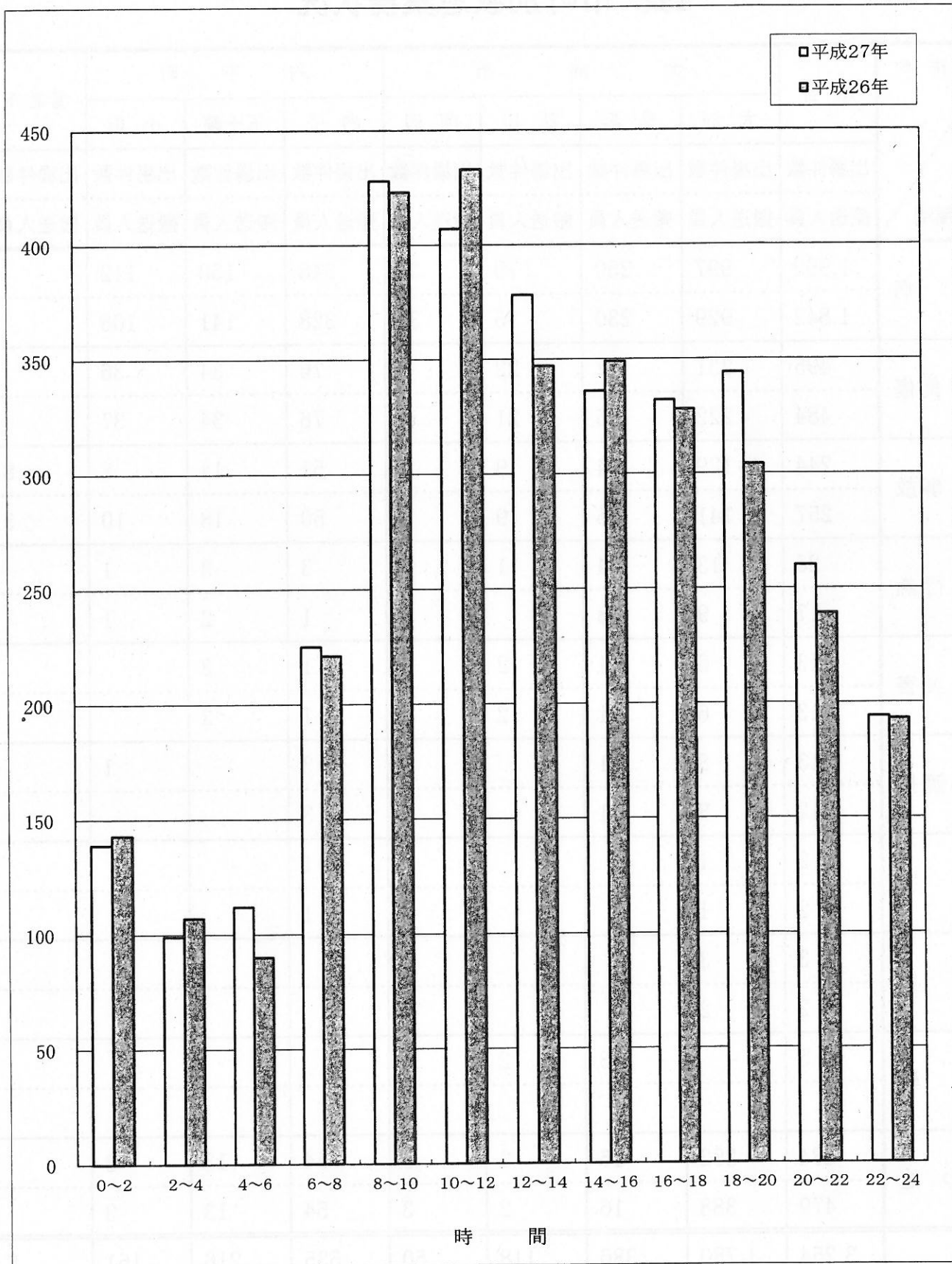
3表 事故種別出場件数・搬送人員



4表 市町別救急業務状況

市 町 事故種別	組 合	大 洲 市				内 子 町			管轄外
		大 洲	長 浜	肱 川	河 辺	内 子	五 十 崎	小 田	
	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数
搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員
急 病	1,969	997	250	79	35	346	150	112	
	1,842	929	230	75	31	328	141	108	
一 般 負 傷	495	231	87	22	9	76	34	36	
	484	222	85	21	9	76	34	37	
交 通 事 故	244	129	24	9	1	51	14	8	8
	257	141	25	9	1	50	18	10	3
自 損 行 為	26	13	4	1	1	3	3	1	
	17	9	3		1	1	2	1	
労 働 災 害	13	6	1	2	1	1	2		
	13	6	1	2	1	1	2		
運 動 競 技	13	8	1			3		1	
	12	8	1			3			
加 害	2	1				1			
	2	1				1			
火 災	3	3							
	2	2							
水 難	5		3	2					
そ の 他	484	392	16	3	3	54	13	3	
	479	388	16	2	3	54	13	3	
合 計	3,254	1,780	386	118	50	535	216	161	8
	3,108	1,706	361	109	46	514	210	159	3

5表 時間帯別救急出場件数



時間	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24
平成27年	139	99	112	225	428	407	378	336	332	344	260	194
平成26年	143	107	90	221	423	433	347	349	328	304	239	193

6表 月別曜日別救急出場状況

曜日 月	日	月	火	水	木	金	土	合計
1月	36	36	42	42	52	45	55	308
2月	40	31	42	34	28	40	37	252
3月	44	54	42	36	26	43	28	273
4月	35	36	41	48	51	29	21	261
5月	34	32	33	21	39	42	54	255
6月	23	34	51	39	33	35	36	251
7月	30	30	45	51	40	40	35	271
8月	41	45	25	31	42	33	57	274
9月	31	45	46	44	36	26	33	261
10月	45	44	41	30	44	51	46	301
11月	35	49	33	34	39	43	22	255
12月	44	34	56	45	41	40	32	292
合計	438	470	497	455	471	467	456	3,254

7表 救急隊員が行った応急処置の状況

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員	1,831	254	479	522	3,086
処置項目					
止血	10	21	88	7	126
固定	22	84	129	16	251
人工呼吸	35	3	1	6	45
心マッサージ	28	4	1	1	34
うち自動	20	2			22
心肺蘇生	53	3	5	10	71
うち自動	8		1		9
酸素吸入	589	33	42	207	871
気道確保	112	6	8	15	141
うち経鼻					0
うち異物除去	4				4
ラリゲアルマスク等	30	4	2	1	37
気管挿管	6		1		7
保温	1,261	98	274	380	2,013
被覆	10	35	104	9	158
在宅療法継続	7				7
点滴処置					
外傷処置					
その他	7				7
ショックパンツ					
除細動	4			1	5
静脈路確保	35	3	3		41
薬剤投与	8				8
その他の応急処置	817	24	90	128	1,059
血圧測定	1,737	236	459	503	2,935
聴診器による聴取	737	85	109	89	1,020
血中酸素飽和度測定	1,756	248	472	509	2,985
心電図	679	17	27	144	867
合計	7,900	900	1,812	2,025	12,637

8表 事故種別医療機関別搬送人員状況

告示開設者別	事故種別		急病		交通事故		一般負傷		その他		合計		
	国	公立	うち管外	うち管外	うち管外	うち管外	うち管外	うち管外	うち管外	うち管外	うち管外	うち管外	
救急告示医療機関		立	2	2					23	23	25	25	
		立	581	126	85	9	143	24	130	89	939	248	
		的	15	15	1	1			42	41	58	57	
		院	1,170	2	159	2	326	1	223	8	1,878	13	
		所	4						1		5		
		計	1,772	145	245	12	469	25	419	161	2,905	343	
	その他の医療機関		立	5	5					6	6	11	11
			立	8	8	11	11	7	7	96	96	122	122
			的	20	20							20	20
			院	8	1			2		1	1	11	2
		所	29	2	1		6		2		38	2	
		計	70	36	12	11	15	7	105	103	202	157	
計			立	7	7					29	29	36	36
			立	589	134	96	20	150	31	226	185	1,061	370
			的	35	35	1	1			42	41	78	77
			院	1,178	3	159	2	328	1	224	9	1,889	15
		所	33	2	1		6		3		43	2	
		計	1,842	181	257	23	484	32	524	264	3,107	500	
	その他の場所		骨										
			院										
			他							1		1	
		計							1		1		
	合	1,842	181	257	23	484	32	525	264	3,108	500		

9表 市町別人口割救急出場状況

(人口は12月末現在)

市町	区分	人口 (人)	出場件数 (件)	搬送人員 (人)	人口1,000人当りの 発生件数(件)
大洲市	大洲	35,321	1,780	1,706	50
	長浜	7,081	386	361	55
	肱川	2,350	118	109	50
	河辺	787	50	46	64
内子町	内子	9,701	535	514	55
	五十崎	5,329	216	210	41
	小田	2,513	161	159	64
組合管内		63,082	3,246	3,105	51
管轄外			8	3	
合計			3,254	3,108	

10表 発生場所別高齢者事故種別搬送人員状況

市町	区分	事故種別										合計	
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病		その他
大洲市	大洲	1			53		1	159		2	670	248	1,134
	長浜				11			69		3	182	15	280
	肱川				6			18			57	1	82
	河辺				1			7			25	3	36
内子町	内子				14			64			228	41	347
	五十崎				6	1		25		1	89	12	134
	小田				5			21		1	80	2	109
その他(管轄外)													
合計		1			96	1	1	363		7	1,331	322	2,122

※ 高齢者～年齢65歳以上の者をいう。

11表 高齢者市町別疾病分類搬送人員状況

市 町	疾病分類	脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	合 計
		大 洲 市	79	91	58	111	15	34	28	17	237
長 洲 市	21	35	24	33	2	4	6	4	53	182	
肱 川 市	6	10	7	9	1	1	3	1	19	57	
河 辺 市	2	8	4	2			1	1	7	25	
内 子 町	32	29	31	40	1	7	6	4	78	228	
五 十 崎 町	14	8	7	18	3	2	3	5	29	89	
小 田 町	11	16	10	12		4	7		20	80	
合 計		165	197	141	225	22	52	54	32	443	1,331

※ 高齢者～年齢65歳以上の者をいう。